

「広島市スポーツ振興のための取組」における次期短期目標(令和7～9年度)の整理

(平成31年度第2回審議会において、数値目標を長期(10年)と短期(概ね3年ごとに見直す)に分けて設定することを決定。令和3年度第1回審議会で現行の数値目標を設定した。)

基本方針	長期目標(R3～R12)	長期目標設定根拠	短期目標(R3～R6)	達成状況(R5実績)	長期目標と短期目標の関連性	短期目標(R7～R9)	目標値の設定根拠
1 地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興	週1回以上運動・スポーツをする市民(18歳以上)の割合 【75%以上】 「広島市市民意識調査」	振興計画(※1)改定時の目標(70%以上)を平成31年度に達成したため、当時の目標から5ポイント上方修正した数値を、引き続き長期目標として設定した。 【H31実績71.9%】	1年間に一度も運動・スポーツをしない市民(18歳以上)の割合 【15%以下】 「広島市市民意識調査」	未達成 (16.5%)	運動・スポーツをしない市民を減らし、運動スポーツ実施率の向上に繋げる。 過去の実績から毎年1.2～1.3ポイント減らすことを目標とした。 【実績(H30、H31平均):20.0%】	1年間に一度も運動・スポーツをしない市民(18歳以上)の割合 【15%以下】 「広島市市民意識調査」	新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、目標値に達していないことから、引き続き、15%以下を目標とする。 【実績(R4、R5平均):16.9%】
	1年間で運動・スポーツをささえる活動(※2)を行ったことがある市民(18歳以上)の割合 【21%以上】 「広島市市民意識調査」	振興計画(※1)の数値目標にはスポーツを「ささえる」関係の項目がなかったため、新たに設定した。 平成21年度から平成31年度の約3ポイント増と同じ上げ幅を目標とした。 【H31実績9.1%(広島市スポーツに関する意識調査)】 令和4年度実績が目標値に達成したことから、同様に実績値の約3ポイント増を新たな目標とした。 【R4実績17.8%】	広島市スポーツイベントボランティアの1年間の派遣人数 【延べ3,700人以上】 「スポーツ・サポート・センター資料」	未達成 (3,075人)	スポーツイベントボランティアの派遣人数が増えることで、市民のボランティア活動への関心を高めることに繋がる。 過去の実績から毎年100人増やすことを目標とした。 【実績(H29～H31平均):3,376人】	広島市スポーツイベントボランティアの1年間の派遣人数 【延べ3,700人以上】 「スポーツ・サポート・センター資料」	新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、目標値に達していないことから、引き続き、延べ3,700人以上を目標とする。 【R5実績:3,075人】
2 学校における体育・スポーツの充実	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果において、体力合計点の全国の実績を100とした際の広島市の割合 【103以上】 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	振興計画(※1)の数値目標である種目数から各種目の成績の合計点に変更した。 都道府県の10位以内相当となることを目標とした。 【実績(H29～H31平均):小学生101、中学生101.9】	運動やスポーツが好きだと思う児童生徒の割合 【小学生92%以上、中学生87%以上】 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	未達成 小学生89.5% 中学生83.7%	運動やスポーツが好きだと思う児童生徒が増えることにより、運動・スポーツに取り組む児童生徒が増え、全国体力・運動能力テストの結果の向上に繋がることから設定した。 小学生は国のスポーツ基本計画の目標の92%を、中学生は小学生と同等の上げ幅の目標とした。 【実績(H29～H31平均):小学生90.8%、中学生85.4%】	1週間の総運動時間(体育の授業を除く)が60分未満の割合 【小学生6%以下、中学生8%以下】 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	現行の数値目標は、国が定めた第2期スポーツ基本計画を基に設定していたが、第3期同計画を策定するに当たり、国が施策目標を変更している。 本市においても、新たな施策目標は実運動時間を増加するものであり、より長期目標である全国体力・運動能力テストの結果の向上に繋がると考えることから、国の目標と同様に過去の実績から半減することを目標とする。 【実績(R4、R5平均):小学生11.1%、中学生15.4%】
3 競技力の向上	国民体育大会(国民スポーツ大会)に出場する広島県選手に占める広島市選手(ふるさと選手を含む。)の割合 【65%以上】 「(公財)広島県体育協会資料」	振興計画(※1)の数値目標が未達成だったため、引き続き長期目標として設定した。	運動部やスポーツクラブに入っている児童生徒の割合 【小学生58%以上、中学生77%以上】 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	未達成 小学生54.7% 中学生70.6%	運動部やスポーツクラブに入っている児童生徒が増え、活動が活発になることにより、競技力の向上が図られ、将来国体に出場できるような選手の育成に繋がる。 過去の実績から毎年1ポイントずつ増やすことを目標とした。 【実績(H29～H31平均):小学生54.9%、中学生73.9%】	運動部やスポーツクラブに入っている児童生徒の割合 【小学生58%以上、中学生77%以上】 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」	新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、目標値に達していないことから、引き続き、小学生58%以上、中学生77%以上を目標とする。 【実績(R4、R5平均):小学生54.2%、中学生71.5%】
4 まちの活力創出に向けたスポーツの振興	1年間にスポーツの試合・大会等(※3)を直接観戦した市民(18歳以上)の割合 【50%以上】 「広島市市民意識調査」	振興計画(※1)の数値目標が未達成のため、引き続き長期目標として設定したが、トップスに限らず、スポーツ大会等の観戦者も増やす必要があることから、一部修正した。	1年間にスポーツの試合・大会等(※3)を直接観戦した市民(18歳以上)の割合 【46%以上】 「広島市市民意識調査」	達成 (46.1%)	令和12年度に50%以上を達成するためには、平成31年度を基準とすると毎年0.6ポイント増やす必要があることから、6年度の目標を46%以上とした。 【H31実績43.9%】	1年間にスポーツの試合・大会等(※3)を直接観戦した市民(18歳以上)の割合 【48%以上】 「広島市市民意識調査」	令和12年度に50%以上を達成するためには、短期目標期間ごとに2ポイント程度増やす必要があることから、48%以上を目標とする。 【R5実績46.1%】

(※1)振興計画とは「広島市スポーツ振興計画」のことを指している。現在は同計画を廃止し、「広島市スポーツ振興のための取組」に基づきスポーツの振興を行っており、目標数値等は引き継いでいる。

(※2)運動・スポーツをささえる活動とは、「クラブやスポーツ団体の運営や世話」、「スポーツイベントの運営や世話」、「運動・スポーツの指導」などの活動とする。

(※3)対象は、全国規模のスポーツリーグの試合又は国際的・全国規模のスポーツ大会とする。